

EX.VIEW



GARDENING NEW TREND
私のガーデニング・マインド



生命の源・水のある
庭づくりを愉しむ。

水は花や木などの植物、人や鳥、虫などの動物といった生命の根源です。だから庭に池やつくばい、水琴窟などの水場があると、それだけで庭が生き生きとしてくるんですね。水を一番大切にする茶道では、庭に打ち水をします。これも、お招きする人に生き生きとした風情でおもてなしをしたいという心のあらわれといえるでしょう。水は器に応じて形が自在になり、滝や噴水のように流すことで庭に変化を生み出します。また水の良さは水を張っているだけで静けさや涼しさを演出できるとともに、それを流せば音を愉しめます。さらさらとした流れの水音は人間の呼吸や脈の音にも似て、一瞬一瞬、生きているという実感が伝わってくるのがいいところです。庭で水を愉しむ場合、たとえば鉄の水盤に花か木賊、シベラスなどの浮き草を浮かべてはどうでしょうか。それらの色合いを愉しむとともに、黒い鉄に張った水は空や庭の景色なども映し込みますから、とても風情があります。小鳥も寄ってきますし。私の作品には水とガラス器と植物をあしらったものが多いのですが、水の入ったガラス越しに花を見ると、光の屈折の関係で直接花を見るのとはまた違った味わいが愉しめます。水の空間が創れなくても、石庭のように波紋を描いて水の感じを愉しむ方法もありますので、ぜひガーデニングに「水」を取り入れていただきたいですね。



假屋崎省吾プロフィール

華道家。STUDIO LEAF 假屋崎省吾花教室主宰。勅使河原宏氏に師事。美輪明宏氏より「美をつむぎだす人」と評される。インテリアやディスプレイの分野でも数々の賞を受賞。クリントン前大統領来日時や、天皇陛下御在位10周年記念式典の花の総合プロデュースなど務め、内外のVIPからも高い評価を得る。テレビ、新聞、雑誌など幅広く活躍中。

著書に「花夢中」(六耀社)「ユリを愉しむ」(同明舎出版)「花筐」(メディアファクトリー)「花・葉・器・自由自在」(角川書店)



華道家 假屋崎 省吾 氏

I N D E X

- ガーデニングニュートレンド.....1
- 座談会.....2
- 設計ノート.....5
- 2001年春 新商品ダイジェスト.....9
- 御庭会通信.....裏表紙
- 御庭番スタッフ紹介.....裏表紙

表紙...西村恵津 / イラストレーター・デザイナー
インテリア・生活小物デザイン等幅広く制作活動...2000年九州・沖縄サミットでは、公式贈答品となった扇子の挿し絵を手がける。

同世代が刺激し合って エクステリア業界のさらなる発展を

「群馬県御庭番会」メンバー会社の若手オペレーターが集まって発足した「御庭番オペレータークラブ」は、御庭番の研修やさまざまな情報交換を主とする研究会を定期的に行い、お互いのキャリアアップを図っています。その活動も今年で3年目。メンバーのみなさんは、エクステリアの今の姿と明日をどう感じておられるのか...会としてのこれまでの成果や今後の活動方針と併せて、大いに語っていただきました。



大鷲 基嘉氏



村山 和久氏



藤原千江子氏



矢端真太郎氏



今井 裕一氏



星野 光伸氏



北崎 昭浩



近藤 裕



武本 英朗



司 会・佐山奈津子

自分とは異なるプランニングの 考え方が参考になる

司会 今回の座談会の模様を、誌面を通じて全国の御庭番や販工店のみなさんにお知らせしたいと思いますので、まず、「御庭番オペレータークラブ」(以下、OOC)の発足の動機をお話していただけますでしょうか？

大鷲 では、みんなに呼び掛けた“言い出しっぺ”の私から(笑)。私たちはみな、群馬県御庭番会のメンバー会社の人間ですが、同じ世代で同じ仕事をしているということで話がしやすいため、自然に親しくなりました。それでせっかくだから、ライバルではあっても会社の枠を取っ払って、みんなで集まって御庭番やエクステリア全般について勉強しようということになったわけです。平成11年5月に発足したので、今年で3年目ですね。

村山 2~3カ月に一度、三協アルミ前橋営業部の会議室で、近藤さんや武本さんにいろいろ指導していただきながら研究会を行っています。情報交換をしたり、ときにはグチを言い合ったり(笑)、プラスになることが多い。だから、みんな熱心に活動を続けてきたし、これからも続けられるのでは。

司会 その活動の中でとくに役立っていることはどんなことなのでしょう。

藤原 プランニングにおいて、自分とは異なるさまざまな考え方を知ることができるのが大きなメリットです。とくに、ときどき実施する課題図面(ひとつの課題に沿って全員が図面を作成して持ち寄る)は、それぞれに特徴があるので、とても参考になります。

星野 私も同じで、プランニングについての具体的な意見交換が、実際の仕事の場面でも役に立っています。

村山 図面というものには正解がひとつではないと思いますが、メンバーそれぞれ

出席者(ご発言順)

- ・株式会社名正 営業部 村山 和久氏(31歳)
- ・株式会社名正 営業部 矢端真太郎氏(26歳)
- ・アライ株式会社 エクステリアコーディネーター 藤原千江子氏(29歳)
- ・富士運輸有限公司 ハウス事業部営業主任 今井 裕一氏(30歳)
- ・有限会社オオシマ 営業 大鷲 基嘉氏(29歳)
- ・株式会社城南 営業設計 星野 光伸氏(23歳)

オブザーバー

- ・三協アルミニウム工業株式会社
エクステリア建材事業本部 エクステリア部
ガーデンエクステリア課 課長 北崎 昭浩
関東エクステリア支店 前橋営業部
課長代理 近藤 裕 主任 武本 英朗

司 会

- ・佐山奈津子
.....エクステリア・ガーデニングに関する記事を主に
手がけているフリーランスライター

のプランニングに触れると、提案する切り口もいろいろあるということを実感します。そのおかげで自分の考え方の間口も広がったと思います。

大島 それぞれのプランニングについて、私個人の印象を言わせてもらおうと、村山さんは家の主を中心にした考え方、藤原さんは女性ならではのやわらかさのあるデザインに特徴がありますね。星野さんはオープン外構が得意で、とくに枕木や砂利の使い方にこだわりを感じます。今井さんは施工のしやすさを重視するタイプで、いちばんオーソドックスかも。で、私はたとえば、ゴミ置き場や自転車置き場をどうするかといった、実用面の使い勝手を見栄えより重視するタイプ。矢端さんは当クラブのニューフェイスで、まだ作品を見せてもらったことがないので、これから楽しみにしています(笑)。

矢端 (株)名正に入社して初めて御庭番に触ってまだ4カ月の新米なので、わからないことばかり(笑)。でも、こういう会に参加させていただけるのはありがたいことなので、これからいろいろ教えてもらいながら、キャリアを積みたと思っています。

今井 私は、ざっくばらんに情報交換ができることが、このOOCの良さだと思います。同じエクステリア業界でも、それぞれの会社によってメインとしている分野が微妙に違うので、個人個人の得意分野も違う。だから、自分がよくわからないことがあっても、誰かに教えてもらったり、お互いにカバーし合って知識を得ることができるので助かっています。

大島 自分が使ったことがない商品の情報を得られるという点でも知識が豊富になるので、プランニングやセールストークの幅も広がります。

新商品の発売と同時に CADデータも入手したい

司会 御庭番の使い勝手はいかがですか。

藤原 平面図でわかりにくい部分というのは、自分の頭の中でもわかりにくいものなので、ずいぶん御庭番に助けられています。御庭番を使ってパースを立ち上げると、そういう部分がリアルになって、正確に判断もできますから。

村山 実際に画面に落としたときに商品同士の見た目のバランスや納まりとか、相性が良くわかるのも便利ですね。

大島 新商品が出たとき、その発売と同

時にCADデータも出してもらえると、もっと便利だと思うのですが…。

北崎 私どもでも、お客様に新商品を少しでも早くご提案いただくために、そのような体制を整えたいと思います。

近藤 他社のものに比べると、御庭番のバージョンアップはスムーズにしているほうだと思います。

街並づくりまで意識した エクステリアを考えていくべき

司会 エクステリアの多様化が進んでますが、将来に向けて、ご自身のお仕事の展望やOOCとしての取り組みなど、抱負をうかがわせてください。

村山 お客様のニーズをどれだけすくい上げることができるかがいちばん重要だと思います。先ほども話に出たように、このクラブを通じて知識を広げることが自分の成長につながるので、今後ますます情報交換やコミュニケーションを強化していきたいですね。

矢端 私は、前職がハウスメーカーの営業で、お客様が建物本体を優先して、エクステリアを後回しにするケースを多く見てきたので、お客様の意識を変える必要性を感じています。ただ、昨今のガーデニングブームがひとつのきっかけとなって、エクステリアにこだわるお客様も増えてきているので、その傾向をもっと高めていけるように、自分も勉強しながら頑張りたいですね。

今井 エクステリアは街並を構成する重要な要素ですから、ある1軒のエクステリアを手がけるときでも、近隣の環境や雰囲気まで考慮してプランニングを行うのが理想です。ただ現実には、お客様のニーズをどうしても優先させるので、なかなかそこまで配慮が行き届かないことが多い。でも、いつまでもそういう状況に流されているのはダメだと思うんです。実は以前に、長野で都市設計の仕事をしている女性に、『群馬は街並づくりを何も考えていないように見える。1軒1軒がバラバラで、街としてのデザイン性がない』と指摘されたことがあって、ちょっとショックでした。今からでも、我々自身がもっと街並づくりを意識したエクステリアを考えていくべきですね。

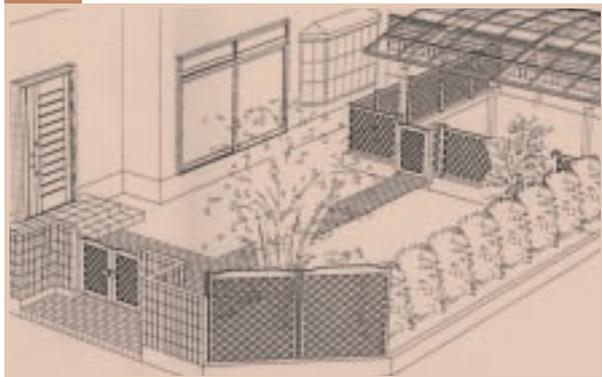
司会 10年後ぐらいに、“群馬ってきれいな街ね”と言われるようになるといいですね。そのためには次代を担うみなさんの力が必要なので、ぜひ頑張ってい

課題を出題し、それぞれが考えを図面化して持ち寄り、みんなで意見交換する研究会が行われています。

課題例			
家族構成	父 35才	会社員	
	母 35才	主婦	
	長女 10才		
	長男 8才		
所有車両	セダン	1台	
	1BOXワゴン	1台	
立地環境	比較的静かな住宅街 通勤時の交通量が多い 北側空地 (GLは高い)		
施主の要望	「オープン外構を...ただ防犯が心配」 「休日は庭でくつろぎたい」 「プライバシーはしっかり確保を」		



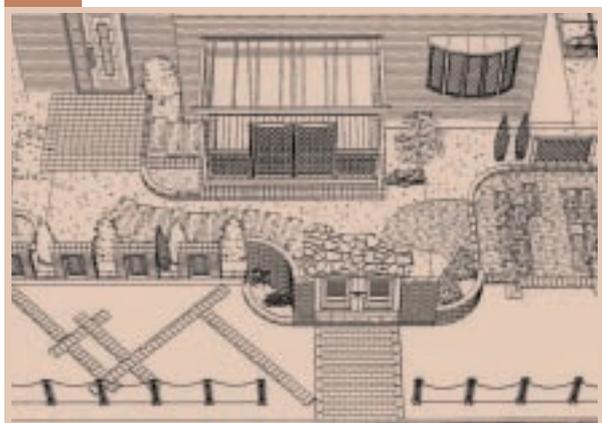
研究作品



研究作品



研究作品



ただいて…。

今井 確かにそういう点でも、エクステリアはやりがいも責任もある仕事なんです。業種としての魅力をもっと世の中にアピールしていかないと、若く有能な人材がなかなか得られないという気がします。

大島 現場のモラルアップはもちろん、業界全体でイメージアップを図るような工夫が必要ですね。そのために、我々OOCだけでなく、もっと広い範囲で販工店同士が交流して、意見をぶつけ合えたらいいと思うのですが…。

武本 三協アルミもそんな機会を提供できるように、アシスト体制をつくっていかねばと痛感しています。

村山 インターネットで、各地と情報交換ができるようにしたいですね。

藤原 ウチの会社ではホームページを開発していますが、Eメールで施工写真を見せてほしいとか、いろいろな要望が寄せられるんです。情報の更新など、運営方法にはまだまだ課題がありますが、インターネットはコミュニケーションツールとしてこれからもっと重要視されていくと思うので、ぜひ活用して双方向の情報交換に役立てたいですね。

勉強会や工場見学など 知識を高める場を設けてほしい

司会 最後に、三協アルミへの忌憚のないご意見ご要望をお聞かせください。

今井 三協アルミの商品は施工しやすい点が気に入っています。

大島 私は、レンガと合わせやすいという理由で、ファンセルシリーズをよく使います。

藤原 さきほどガーデニングブームの影響でエクステリアが変わってきたというお話が出ましたが、三協アルミもウッド製品を出したり、最近では、スタイルのように自由度の高い商品を出すなど、どんどん変わってきているのは大歓迎。今後も規格にはまりきらないケースに対応できるような、幅のある商品を製造販売してほしい。それに、枕木を販売してもいいのでは。

北崎 昔のように門扉、フェンス、金物一辺倒のエクステリアではなく、植栽と調和したエクステリアが求められる傾向にあるので、私どもも従来のアルミ素材だけではなく、植栽を引き立たせる素材を使った商品を開発したり、植栽と金物

をいっしょに提案するなど、柔軟性を持ちながら、多様化しているニーズに対応していきたいと思います。

星野 飾り門柱のバリエーションはけっこう豊富にあります。鋳物製のものをもっと増やしてもらえたらいい。

今井 お客様が星の数ほどある商品からひとつを選び取るのは難しいことなので、我々が商品を提案する力をもっとつけていかないとだめですね。そのために勉強をしたいのですが、いくら情報化時代といっても、情報の量や入ってくるスピードには地域格差があるし、我々のような小さな会社やクラブだけではいろいろ限界もあります。そこで、メーカーの強みとして、三協アルミのほうで地域別に、ぜひ勉強会をやってほしいですね。植栽を含めて基本的な理論が勉強できる基礎コースとか、応用コースとか、有料でかまわないので、いろいろなコースを設けてもらえるとうれしいですね。

矢端 私も同感です。前職ではしょっちゅう研修会や勉強会があって、それはそれで大変でしたが、やはり情報や知識を得るには必要なことなので、ぜひそういう場をつくってください。

村山 たとえば、東京の狭小地のエクステリアのアイデアとか、地域性による工夫や特徴などもぜひ知りたいですね。

大島 私は三協アルミ本社の工場見学をしたいのですが。実際に商品をつくっている工程を自分の目で見て確かめたり、つくっている人と話ができれば、商品をもっと理解できるはず…そうすれば、お客様にもきちんと説明できるので、見学ツアーのようなものを企画してもらえたらと思います。

近藤 実は、以前勉強会を行っていたことがあるのですが、人が集まらなくなってやめてしまった経緯があるんです。でも、みなさん非常に熱心なので、見学ツアーのことも含めて、なんとかご要望に応えられるように少しでも考えたいと思います。

最後に、みなさんのご要望に沿えるよう対応していきたいと思いますので、これからも忌憚のないご意見ご要望をお聞かせください。商品についても、さきほど枕木をというご要望がありましたが、みなさんの提案のパーツとして盛り込んでいただけるように、素材、デザインともに魅力ある商品を提案してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。



代表取締役
馬木浩重氏

プロフィール

愛媛県新居浜市出身。工学院大学建築学科を卒業後、大手ハウスメーカーに勤務し、造成開発の仕事に携わる。平成10年に独立し、(株)ヒューマン(一級建築士事務所)を設立。個人住宅や集合住宅の設計、エクステリアの設計、都市計画などを手がけている。



オープンスタイルのアプローチとカースペース。住宅と住宅の境界もあいまいなデザインにすることによってつながりをもたせ、空間に広がりを出している。

(第18回エクステリア施工コンテスト 猪狩賞受賞)

統一性のあるポケットパーク的な外構で街並の美しさを表現

「青葉の森の街」と名付けられた、千葉県千葉市中央区にあるこの団地は、都市基盤整備公団が8年ほど前から開発・販売を行っているもの。すべてが完成すると、650棟が建ち並ぶ大規模なニュータウンになります。わが社は数ブロックのエクステリアを手がけており、ここにご紹介するのは一例です。

住宅が8棟並んでいるブロックですが、ハウスメーカー8社が各戸の建築を担当したため、1軒1軒のデザインは異なります。そこで、統一性のあるエクステリアをつくって全体につながりを持たせ、街並としての美しさを表現しました。

基本テーマは「カーポートを兼ねたポケットパーク的なエクステリア」。敷地に高低差があり、階段を設けることが前提となっていたため、その階段脇のスペースをセットバックさせて、オープンスタイルのアプローチとカースペースをつくりました。それによって、6m道路に面しているうえに空間に広がり生まれ、より快適なスペースになりました。カースペースは2台分のスペースをとり、土間コンクリートとインターロッキングで仕上げ、目地部分にはリュウノヒゲを植え込んでアクセントにしています。

また、アプローチの床と門柱はドイツのソルフォーヘンという石を乱張りにし、花壇の周囲には伊勢石をあしらひ、階段はレンガブリックで仕上げ、踏み面につぶ石を埋め込むなど、さまざまな石材を使用。さらに、ウッドフェンスを取り入れるなど自然素材を多用して、優しさや安らぎを感じさせるエクステリアに。そして、黒のエトランポ手摺を使用して、空間を引き締めるポイントにしました。

それぞれの住宅によって凹凸を加えたり、カタチに変化をつけながらも、これらの素材と意匠、シンボルトリーをはじめとした植栽プランの統一によって、調和のとれた街並づくりを実現。ポケットパーク的な楽しさも表現しました。完成してまだ1年ほどですが、数年後緑が大きく育ち、花が増えていくと、街並の美しさがさらに際立つでしょう。

●設計におけるポイント

第一に、門扉から玄関へのラインにアールをつけたり、サイドから入るカタチをつくるなど、アプローチに変化をつけることが重要なポイントです。門扉を玄関の正面に設置して、まっすぐに入るカタチにしてしまうと、間の抜けた印象になるから

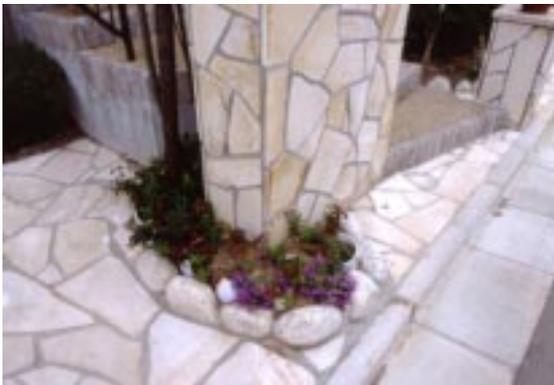
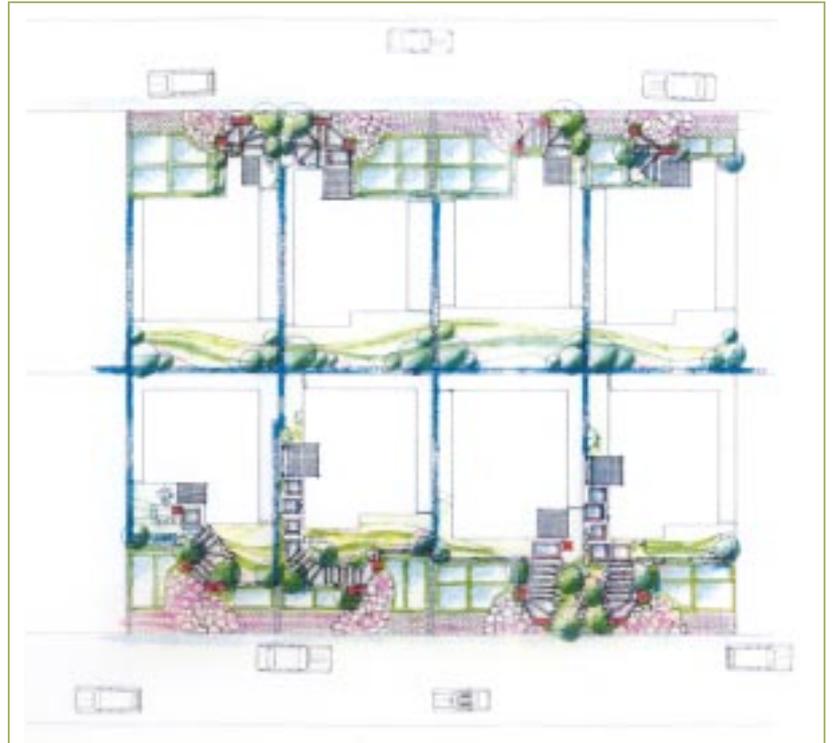
です。それに比べて、アプローチに変化をつけると、きれいに見えるうえ、外観全体の印象も引き立ちます。建物とエクステリアとの境界を消し、一体化を図るのも美しい外観をつくるポイント。庭木の足元に石や背の低い植物をあしらうなど、建物の基礎の部分を目立たせない工夫が必要です。

植物が映える舞台づくりも重視し、植物と調和する自然素材を多用します。とくに、石はひとつ1つ形が異なり、偶然性のある面白さが魅力なので、さまざまな種類のを組み合わせるようにしています。ただし、施主様があとで手を加えて楽しめるように、余地を残すことも大切です。

昨今のガーデニングブームの影響で、エクステリアを構成するアイテムも素材も増え、エクステリアはどんどん変わっています。そして、お客様も知識が豊富になり、我々はハード、ソフトの両面で提案力をさらに磨く必要があります。とくに、団地の場合は、エクステリア＝街並づくりですから、点ではなく線でとらえる工夫をして、資産価値が高まる美しい街並を創造することが重要でしょう。



千葉県千葉市 「青葉の森の街」の街並
それぞれの住宅によって変化をつけながらも、
素材と意匠、植栽を統一したエクステリア
を構築。道行く人の目を楽しませる、美し
い街並が続いている。



門柱と床は、ソルフォーヘンという石を切って乱張りに。
植栽を引き立たせると同時に、エクステリア全体を明る
くおしゃれに仕上げるキーポイントになっている。



自然素材やアールを取り入れたデザインが、
ホッとできるような優しい雰囲気を感じさせる。



エントランスと前庭を内側から見る。鋳物製門扉とレンガの色合いがシックな印象。植栽スペースの土の表面を砂土で覆って、よりきれいに見せている。

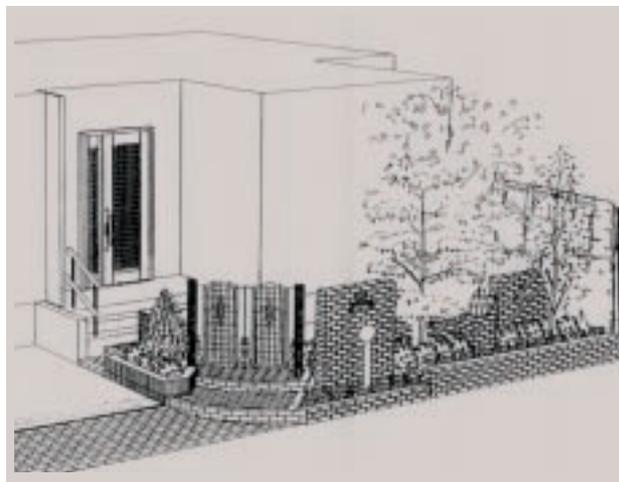


宮城県名取市 S様邸
落ち着いた中にも開放感が感じられるセミオープンスタイルのエクステリア。建物の雰囲気にもマッチしている。



代表取締役
大宮健治氏

営業
大宮由博氏



開放感やおしゃれ心を感じさせるセミオープンスタイル

S様邸は、北側と東側の2方向が道路に面した角地にあります。ファサードは北側で車2台分の駐車スペース、玄関アプローチ、前庭という構成です。「駐車スペースはオープンスタイルに」という要望のため、玄関アプローチと前庭も、門扉と花壇とを組み合わせ合わせたシンプルなセミオープンプランにして調和を図りました。そして、門まわりを少し斜めに振り、アールをつけたステップを設けて、リズムカルなアクセントをつけています。

また、駐車スペースと玄関の境界には手すりを設けましたが、これは安全性だけでなく、デザインとしても効果的な役割を果たしています。花壇は、建物の一部に取り入れられたレンガ調タイルと調和するよう、レンガ仕上げとしました。そして、

シンメトリーにシンボルツリーを配し、低い位置にはツツジを植え込み、中央に花台をつくって、表情豊かな植栽シーンを演出。落ちついた雰囲気の中にも開放感やおしゃれ心を感じさせるエクステリアを表現しました。

●営業の考え方

わが社は、ひとりで営業からプランニング、現場監理までこなすマルチタイプの人材が揃っているのも、施主様の要望を正確に設計に反映でき、仕上がりまでのプロセスも非常にスムーズです。このような体制が提携しているハウスメーカーの信頼につながり、現在、年間約600棟の受注をこなしています。昨今、お客様の要望は、安いコストでなおかつ見栄えのよいもの...と、ますます



厳しくなっていますが、それに応えるのもプロの仕事。植栽まで含めたトータルプランニングの中で、コストをかける部分と抑える部分を調整するなど、工夫を凝らして要望を実現しています。また、リフォーム需要も増え、エクステリアはますます多様化しています。そこで、提案力、設計力、施工力をさらに磨き、お客様の満足度の高いエクステリアに取り組んでまいります。



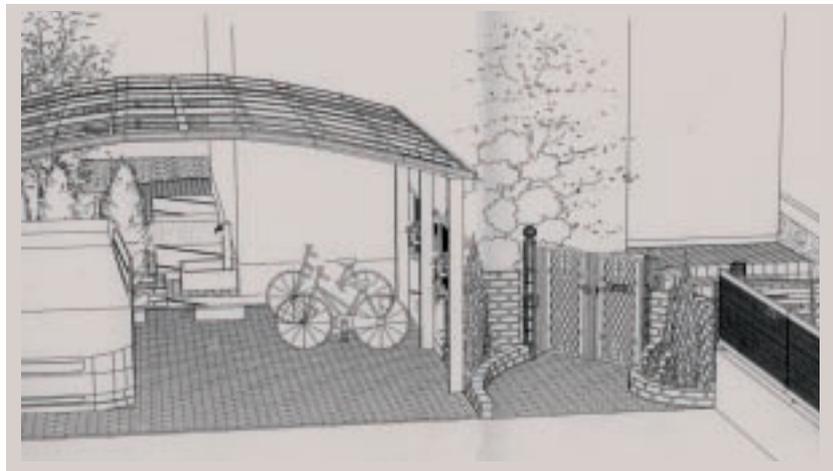
長野県南安曇郡 U様邸
車2台分のカーポートを確保し、残りのスペースを有効に使って玄関アプローチと植栽スペースをデザイン。



代表取締役
齊藤忠重氏



斜めに振った玄関まわりにレンガ積みの花壇を2カ所設けて、エクステリアを表情豊かに見せている。住み手のセンスが感じられる植栽のアレンジが彩りを添えて、より印象的なエクステリアに。



門扉まわりのデザインを工夫してフォーカルポイントに

U様邸はL字型の道路に面しており、2台分のカースペースが必要だったため、必然的にその配置と広さが決まり、残りのスペースを有効に使って、玄関アプローチと植栽スペースの設計を工夫しました。とくに、門扉まわりのデザインにこだわり、個性を感じさせるフォーカルポイントとしました。門扉や門柱、サインプレートなどは鋳物製で統一、レンガ積みの花壇を組み合わせ、落ちつきと高級感を演出。アプローチはS字型にカーブをつけて、インターロッキング仕上げに。それらの質感と色合いが植栽とマッチし、訪れる人をおしゃれに迎えます。植栽プランについては、ガーデニングに熱心な奥様が、ご自分の手で

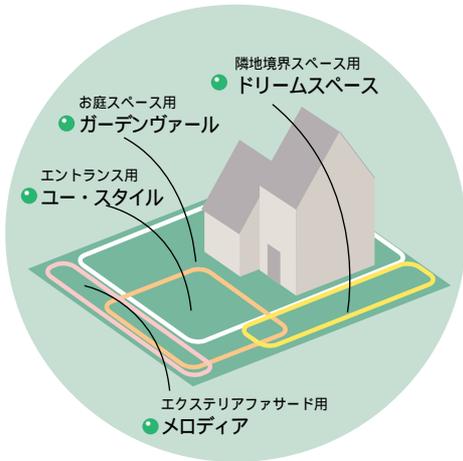
楽しむスペースと、初めから庭木を植え込むスペースとの配分にも気を配りました。アプローチ脇にはシンボルツリーや低木を配し、カーポート後ろのバックヤードにつながる細長いスペースにも、隣家の視線を遮る数種の庭木を植えています。奥様が季節ごとに植え替える草花と庭木のハーモニーが外観に彩りを添え、周囲でひととき目立つエクステリアになりました。

● 営業の考え方

当社は造園業からスタートしているので、植栽プランの知識の豊富さが大きな特徴です。昨今は、ガーデニングの要素を取り入れたエクステリアが好まれる傾向にあるので、その特徴を生かすことが当

面の目標です。落葉樹と常緑樹のバランスをどうするか、植栽とオーナメントなどのアイテムをいかに組み合わせるフォーカルポイントをつくるかなど、1軒1軒の条件に合わせてきめ細かくプランニングしていきたい考えです。

また、リンクストーンというリサイクル商品の舗装材のような新しい素材やアイテムを取り入れる創意工夫も大切です。さらに、この地方では冬場の環境にも配慮が必要。雪おろしのためのスペースをつくったり、場所によっては凍結の影響がない石を多用するなど、実用性にもすぐれたエクステリアを提供していきたいと思えます。



エリアごとの提案がさらに充実しました

ガーデンエクステリア今春の新商品は、街並み景観と住まいごとの個性的な表現を両立させるエクステリアファサードシステム「メロディア」第2弾と、メロディアと調和させながら魅力的な空間をつくる新シリーズのユニバーサル・エントランス・システム「ユー・スタイル」。これで、エリアごとのコーディネート商品が充実し、調和した街並みや個々の生活スタイルに合わせたプランをご提案いただけます。開発担当者から、それぞれのプランニングの考え方などをご案内いたします。



メロディアとユー・スタイルでまとめた提案（東京会場）

カーポートまわりの新提案

ユニバーサル・エントランス・システム

U.style

ユー・スタイル

これは、玄関から自動車などで道路に出るまでの動線となるエリアをまとめる商品です。敷地と各エリアに合わせて、柱位置・角度を自在に設置できるもので、昇降時にじゃまにならないよう、柱を離れた位置に設置できます。機能的にも空間イメージとしても開放感が演出できます。さらに玄関から駐車場までのアプローチに通路シェルターを組み合わせることが可能です。

開発に当たっては、デザイン性を高めながら自由度を持たせるのが至難の業で、試行錯誤の繰り返しでした。

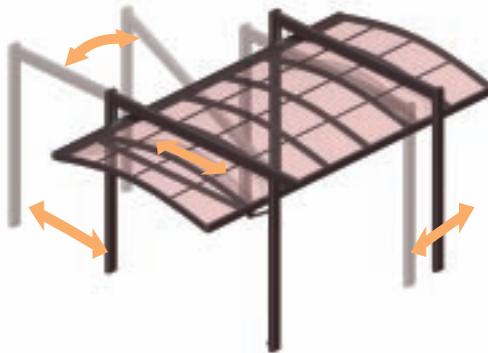
カーポートは...R形屋根・パーゴラ屋根・ガラス屋根
構造は...吊下げタイプ・梁置きタイプ・桁取り付けタイプ
をご用意。業界初のガラス屋根は、ガラスに不慣れな販
売店様でも安心施工できるよう四方にアルミ形材を取り
付けています。

ぜひ素敵なプランを
ご提案ください。



商品部 商品開発課
中西 治雄

柱や屋根構造が展開自由です



梁置きタイプ...R屋根 + ガラス屋根（アプローチ）



梁置きタイプ...R屋根 + R屋根 + パーゴラ屋根



前吊下げ・後桁取り付けタイプ...R屋根

「個性と調和21世紀の新ゆとり・新快適空間」を提案



今年のエクステリア春の商品展示会は「個性と調和21世紀の新ゆとり・新快適空間」と題し、東名阪各会場にて開催いたしました。

... 各家庭の暮らし・まちづくり・環境について、ゾーニングごとの提案をメインに、景観商品群の可能性、エコロジー社会への提唱...リサイクル素材による商品の展示、スーパー御庭番によるプレゼンテーション実演などを行い、共感のご評価をいただきました。6000名を超えるご来場と、お寄せいただいた貴重なご意見に厚く御礼申し上げます。

3月2日・大阪会場.....オオサカ サンパレス オービットホール

3月7日・東京会場.....TRCアーレンEホール

4月24日・名古屋会場...名古屋市吹上ホール



変化し奥行き感のある構成と調和する街並み景観を実現（東京会場）

新しい街並みづくりへアイテムが充実

エクステリアファサードシステム

メロディア

最近オープン外構が定着して植栽を多用する似たような門廻りの街並みが増えています。これでは変化に乏しく、道行く人にも面白味がありません。そこで商品化したのが「メロディア」です。植栽と調和し、奥行き感のある新しい外構を基本に、住まいそれぞれに豊かに変化しながら、統一感のある街並みを実現します。

門柱・ポール・柱カバー・ポストユニット・格子ユニット・パネルユニットなど多彩なアイテムを、ご予算やニーズに合わせて組み合わせ、幅広い展開ができます。

柱カバーには、木目けやき調・白御影石調など、自然素材感のある色調も用意しており、アクセントを強調して変化をもたせたり、より統一感をもたせて調和する表情をおつくりいただけます。



商品部 商品開発課
青野 純士



（東京会場）



楽しいガーデンシーンを提案 ガーデンヴァール

ガーデンライフを様々な演出する「ガーデンヴァール」シリーズは、ナチュラルな本物の素材ならではのくつろぎ感を生み出します。展示会での「楽しいガーデンシーン提案」コーナーが、ご来場者にも癒しの場になっていました。

おにわかい つうしん

御庭会通信



東海御庭会



表彰式

● 栃木・埼玉地区御庭番情報交換会

2月21日 大宮パレスホテル

栃木・埼玉地区では、合同で御庭番情報交換会が開催され、スーパー御庭番の概要説明の後、(株)あい造園設計事務所の細谷恒夫先生を講師に迎えての講演会が行われた。「高齢化社会とユニバーサルデザイン」をテーマとし、今後の高齢化社会に対応したバリアフリーの実例や、整備すべき公共施設についての説明が行われた。

● 東海御庭会 総会

3月15日 名鉄ニューグランドホテル

東海地区の総会では、当社の今後の商品政策とスーパー御庭番VER 2.5の概要説明があった。その後、情報誌「グリーン情報」の菅沼部長による、今後のリフォーム需要やキッチンガーデン・ペットガーデンなど、これからのビジネスチャンスが期待される分野についての紹介が行われた。また、昨年実施された、「2000年プランニング&施工コンテスト」の入賞店に対する表彰式が行われた。

金賞 (有)サイトーハウジング様
銀賞 (株)ヤマウチ建材様
銅賞 サンメイト(株)様 (有)鈴清アルミ建材様

● 長野地区プレゼン研修会 3月22日 三協アルミ長野支店

長野地区では、エクステリアプランの提案力アップを目的として、エクステリア施工コンテスト入賞作品の施工ポイント紹介と、スーパー御庭番の応用操作説明が行われた。

スーパー御庭番 システムインフォメーションCD-ROM リリース



スーパー御庭番の概要を動画で紹介する、インフォメーションCD-ROMをリリースした。あわせてサンプル図面や、実際にユーザー様が作成したイメージパースと、その現場施工例を収録している。詳しくは、弊社の担当営業マンへお問い合わせください。

おにわばん 御庭番スタッフ紹介

東京都荒川区 株式会社構建様



鈴木稔様



鈴木栄作様

「御庭番は、初心者の私でも 操作が簡単にできます」

今年、父が経営する構建に入社したばかりなので、まだ仕事を覚えるのに精一杯です。ただ御庭番は、初心者の私でも操作が簡単にできるほど操作性がいいので、助かっています。仕事を始めてから、街を歩くときもエクステリアが気になるようになりました。いろいろ観察して、プランニングの参考にしています。会社は東京にあります。栃木の実家から通っているので、休日は地元で遊びます。趣味はサーフィン。まだ始めたばかりですが、おもしろいですよ。よく茨城の海に出かけて楽しんでいます。サーファーにとってはこれからの季節が本番。力が入りそうです(笑)。

三協アルミ

〒933-8610 富山県高岡市早川70 三協アルミニウム工業株式会社
エクステリア建材事業本部 EX.VIEW編集室
TEL0766 20 2261 FAX0766 20 2071
ホームページアドレス <http://www.sankyoalumi.co.jp/index/ex.htm>